

すべての企業を世界につなぐ 言葉のコンシェルジュ

2019年2月

株式会社翻訳センター（ジャスダック 証券コード：2483）

代表取締役社長 二宮俊一郎



本日のご説明内容

1

I. 翻訳センターとは

II. 今後の戦略～第四次中期経営計画

III. 2019年3月期 通期予想と3Q実績

IV. 株主還元

1. 会社概要

■会社名	株式会社 翻訳センター
■代表者	二宮 俊一郎
■本社所在地	大阪府大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号
■設立	1986年4月
■資本金	5億8,844万円（2018年3月末現在）
■連結売上高	106億1,890万円（2018年3月末現在）
■事業所	【国内】大阪、東京、名古屋、福岡（営業所） 【海外】サンフランシスコ、ニューヨーク（営業所）
■連結従業員数	512人（2018年9月末現在）
■関係会社 [事業内容]	(株) アイ・エス・エス [通訳、人材派遣、コンベンション] (株) アイ・エス・エス・インスティテュート [通訳者・翻訳者育成] (株) 外国出願支援サービス [海外への特許出願支援] (株) パナシア [メディカルライティング] (株) メディア総合研究所 [翻訳、IT] HC Language Solutions, Inc. [通訳、通訳] ランゲージワン (株) [多言語コールセンター]

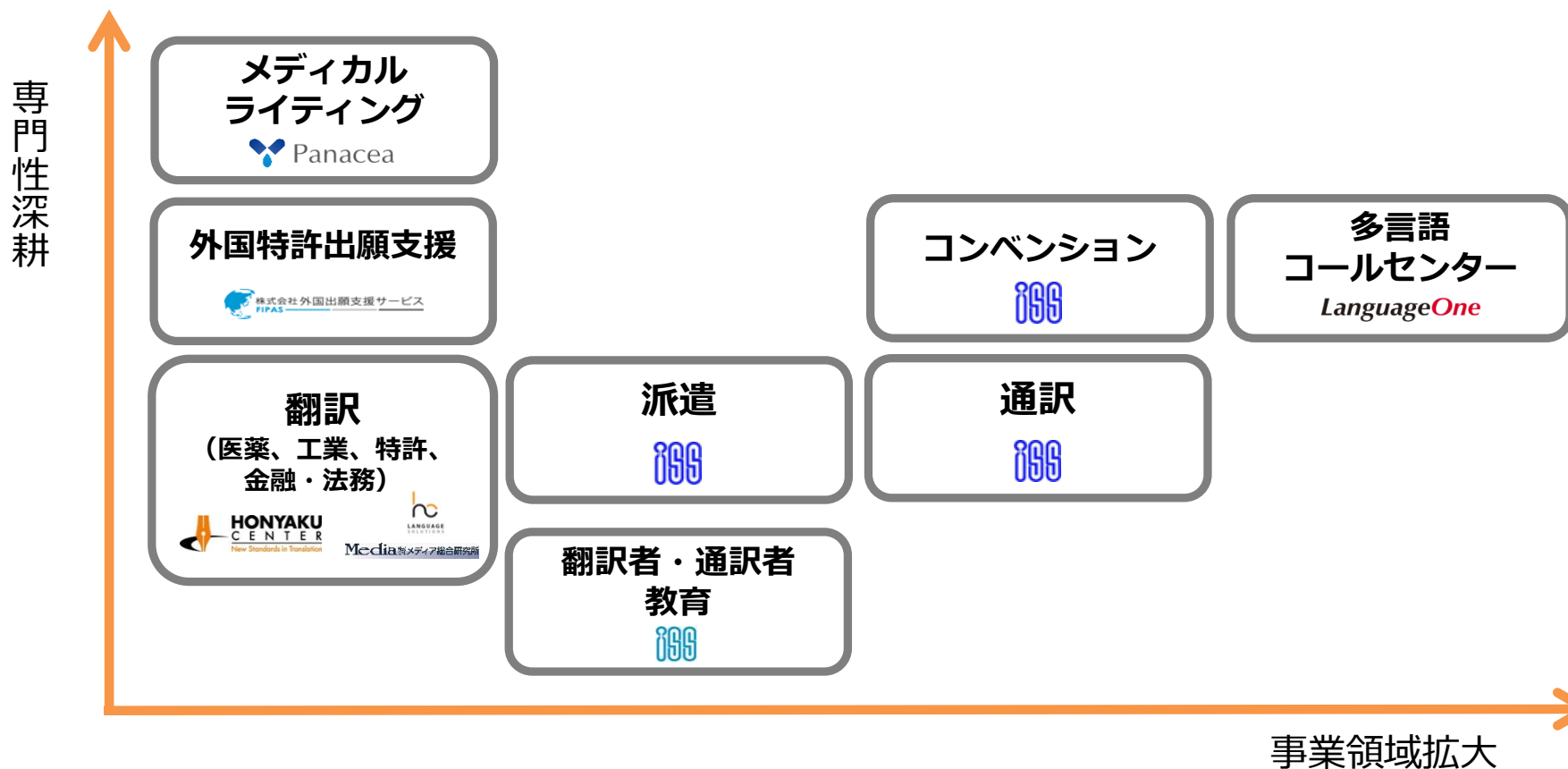
2. 沿革

1986年4月	大阪・道修町に医薬専門の翻訳会社として設立
1988年9月	工業分野の翻訳サービスを開始
1997年8月	特許分野の翻訳サービスを開始
1998年4月	金融・法務分野の翻訳サービスを開始
2006年4月	大阪証券取引所「ヘラクレス」上場（現・東京証券取引所「JASDAQ」）
2006年11月	HC Language Solutions, Inc. 設立（アメリカ、カリフォルニア州）
2010年12月	株式会社外国出願支援サービス 設立
2012年9月	株式会社アイ・エス・エスをグループ会社化
2014年10月	株式会社パナシア 設立
2015年4月	ランゲージワン株式会社 設立
2017年10月	株式会社みらい翻訳に資本参加
2017年11月	株式会社メディア総合研究所をグループ会社化
2018年2月	東京本社設置（大阪本社との二本社制）

3. 事業内容

4

専門性深耕と事業領域拡大の両立 = 翻訳センターグループ

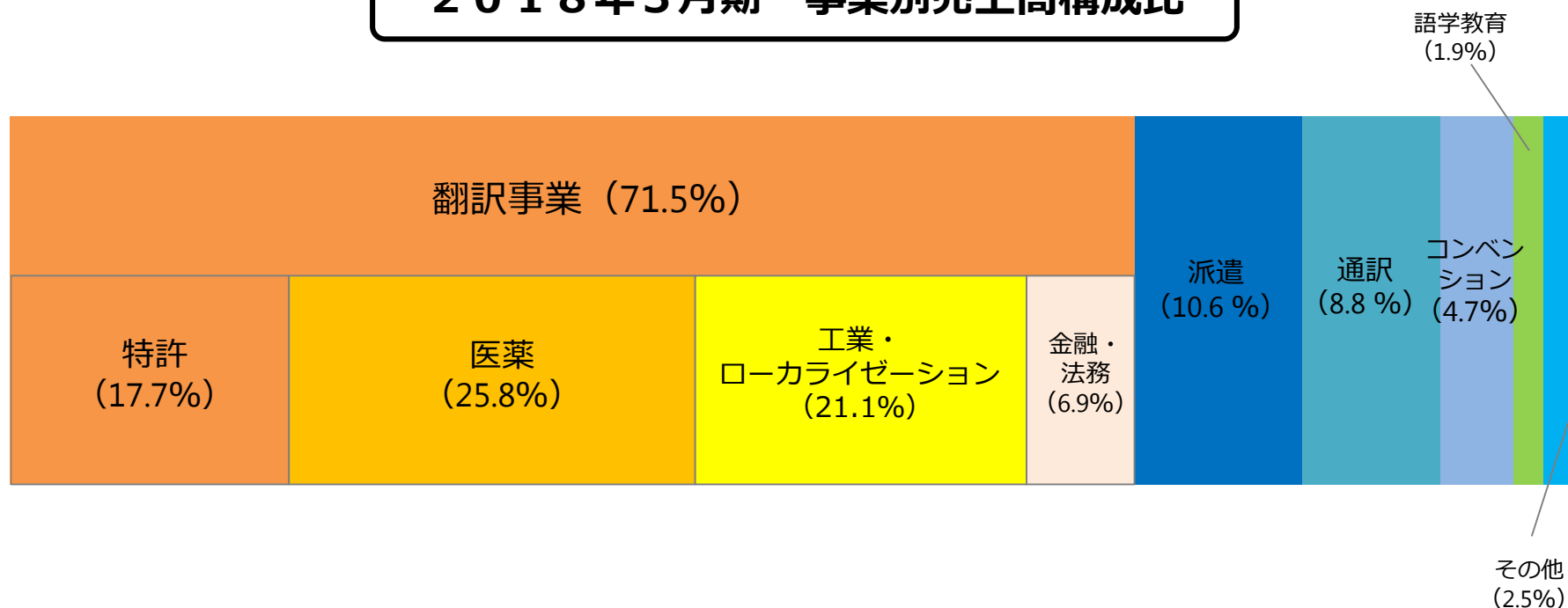


4. 事業別売上高構成比

5

連結売上高 106 億の約 70% (約 76 億) は翻訳事業が占める

2018年3月期 事業別売上高構成比

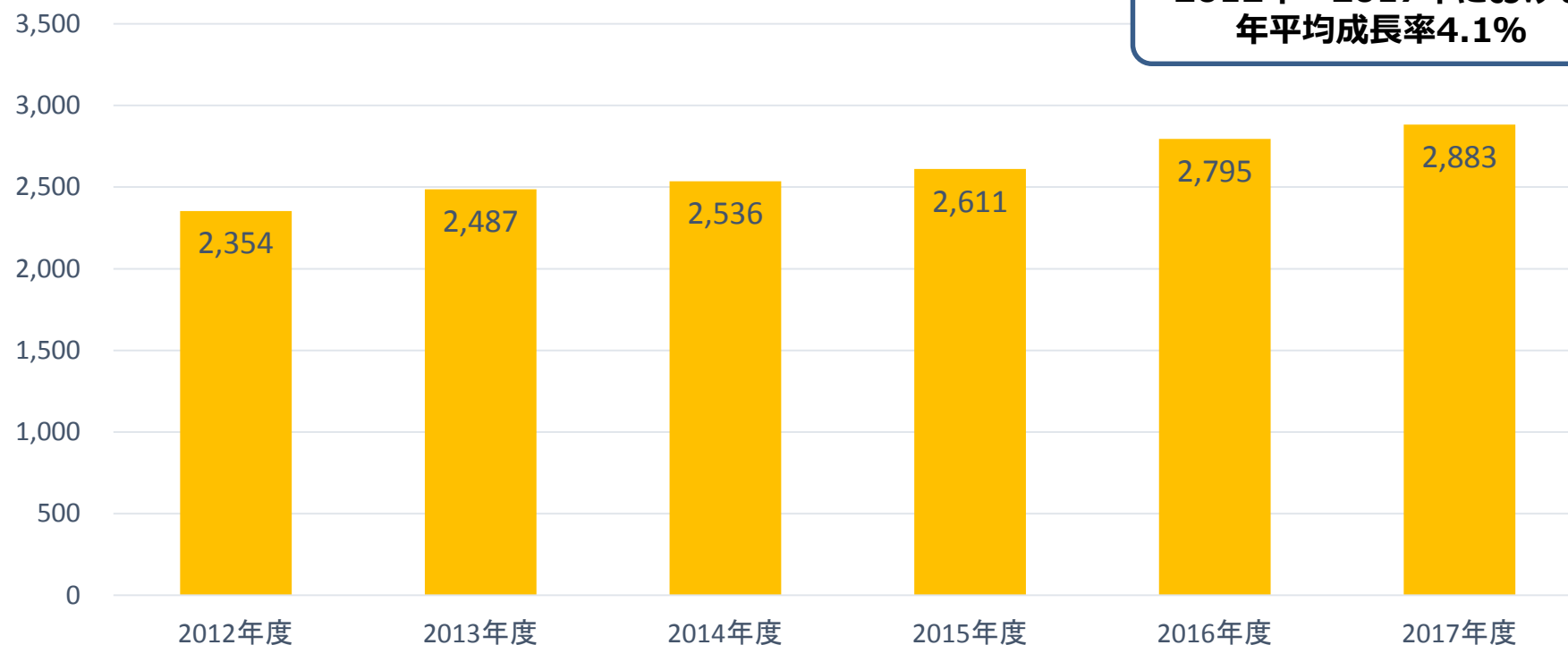


5. 翻訳・通訳の国内市場規模（1）

翻訳・通訳の国内市場は緩やかに成長し続けている

単位：億円

2012年～2017年における
年平均成長率4.1%



「語学ビジネス徹底調査レポート」（矢野経済研究所）を基に当社にて作成

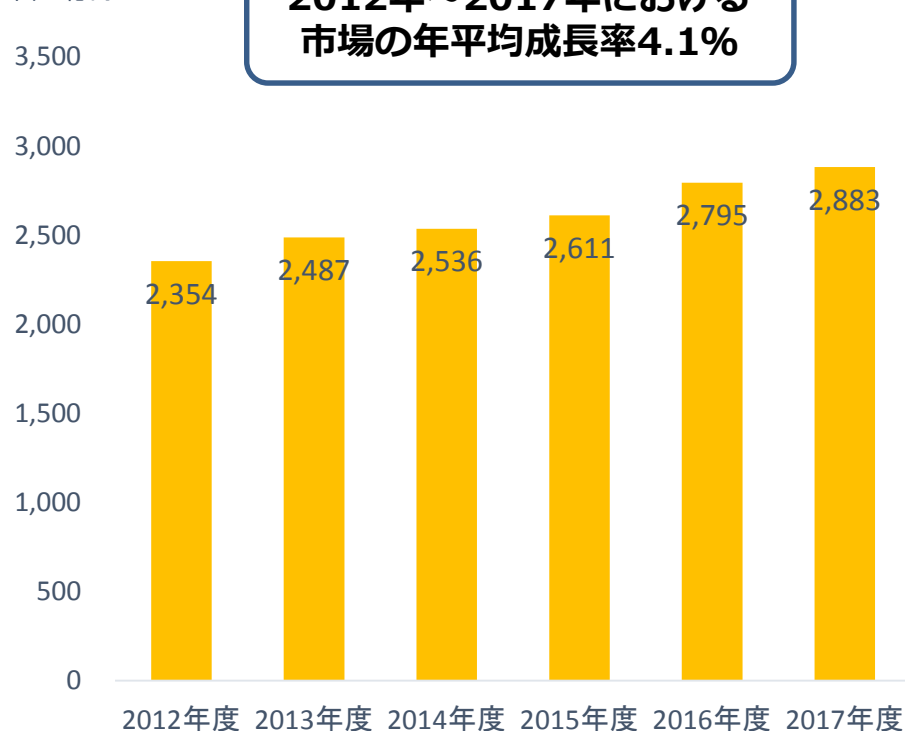
5. 翻訳・通訳の国内市場規模（2）

7

当社は翻訳・通訳の国内市場の伸びを上回る成長を続けている

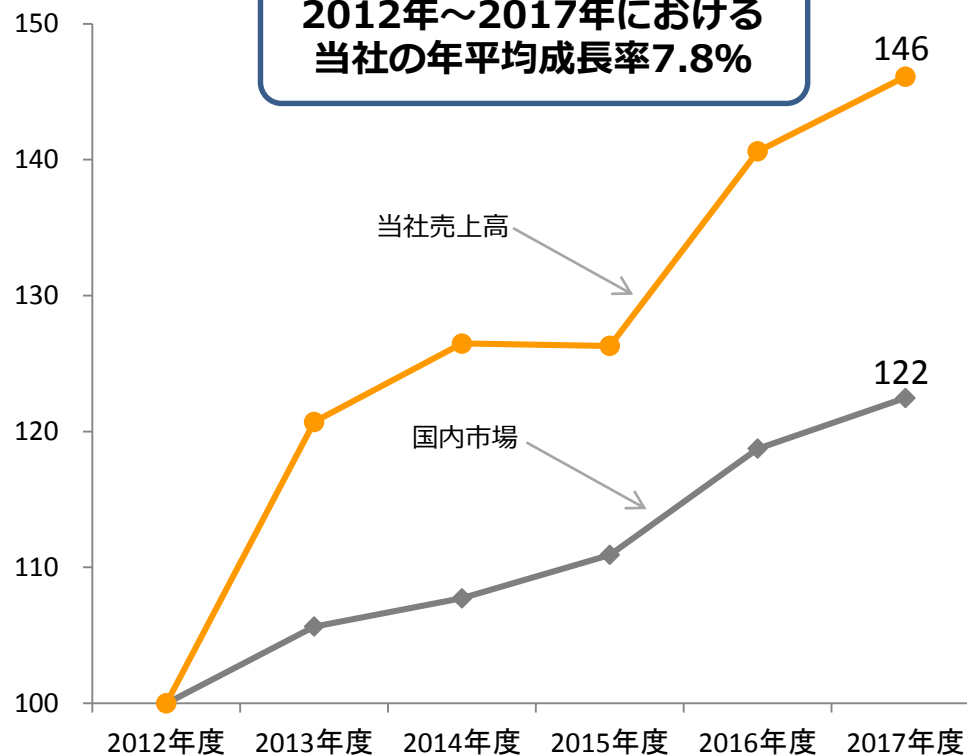
単位: 億円

2012年～2017年における
市場の年平均成長率4.1%



「語学ビジネス徹底調査レポート」（矢野経済研究所）を基に当社にて作成

2012年～2017年における
当社の年平均成長率7.8%



2012年度 = 100として指数化

I. 翻訳センターとは

II. 今後の戦略～第四次中期経営計画

III. 2019年3月期 通期予想と3Q実績

IV. 株主還元

1. 第四次中期経営計画 (2019年3月期～2021年3月期)

基本方針

日本を代表する言語サービスのコンサルティング企業を目指し、最新のテクノロジーを活用したソリューションビジネスへの転換を図り、翻訳事業の高付加価値化を実現する。

重点施策

ソリューション提案力の強化

- 専門特化サービスの集合体としての強み・価値の訴求
- 各種ツール・ソフトウェアを活用した翻訳業務の効率化の提案

言語資産の活用

- 中長期的な競争力を支える言語資産の蓄積と運用のための環境整備
- 翻訳作業工程のIT化による品質の安定と生産効率の向上

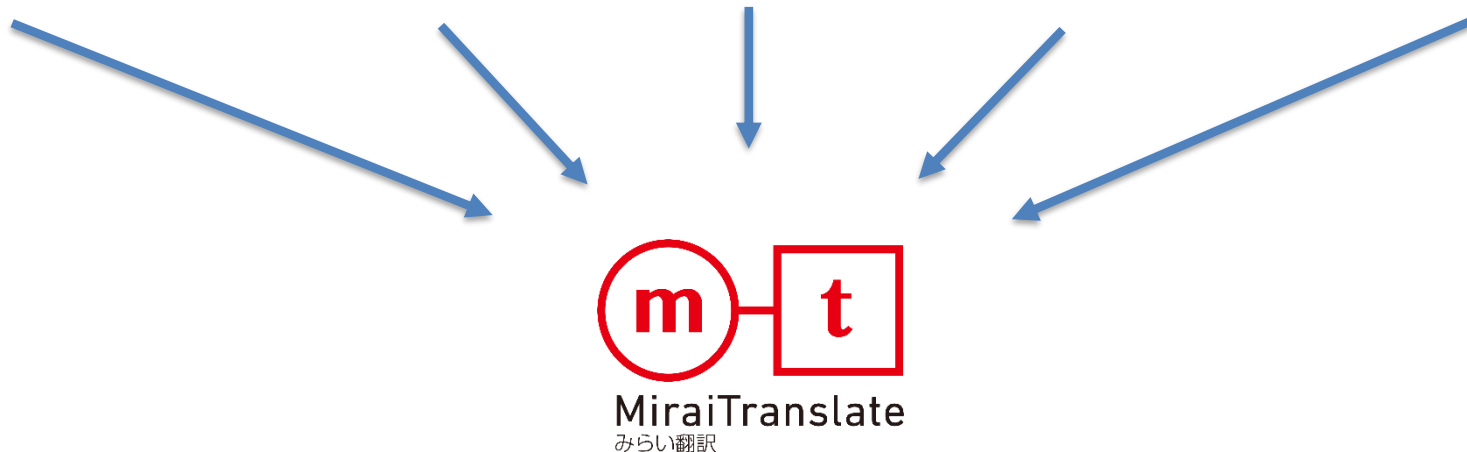
経営基盤の整備

- 業務プロセスの標準化と自動化による生産性の向上
- 環境の変化に対応するための人材育成と組織機構の最適化

2. 機械翻訳（NMT）の取り組み （株）みらい翻訳との協業

10

- ・ 最高水準の機械翻訳エンジン開発を目指す
- ・ 今年7月にNTTコミュニケーションズが（株）みらい翻訳に資本参加
- ・ **【New】** 2019年1月に「Mirai Translator™」がバージョンアップ



2. 機械翻訳の取り組み Mirai Translator™ デモンストレーション

11

The screenshot shows the Mirai Translator™ trial website. At the top, there is a navigation bar with the MiraiTranslate logo (a red circle with 'm' and a blue square with 't') and links for サービス (Services), ニュース (News), 利用例 (Usage Examples), パートナー (Partners), 会社概要 (Company Overview), and お問い合わせ (Contact Us). On the right side of the header, there are two buttons: 'お試し翻訳' (Trial Translation) with a 'NEW!' badge, and 'Mirai Translator™ お申し込み' (Sign up for Mirai Translator™). Below the header, the main heading 'お試し翻訳' (Trial Translation) is centered. To the right of this heading is a link 'Top > お試し翻訳'. The main content area contains a form for translation. It has two dropdown menus for '原文言語' (Source Language) and '訳文言語' (Target Language), followed by a '翻訳' (Translate) button. Below these are two large text input areas: '原文' (Source Text) on the left and '訳文' (Target Text) on the right. The '原文' area contains the instruction '翻訳したい文章(1,000文字まで)を入力してください。' (Please enter the text you want to translate (up to 1,000 characters)). At the bottom of the form, there is a note: '本サービスについては利用規約をご確認の上ご利用ください。' (Please confirm the terms of service before using this service).

出典：（株）みらい翻訳 ウェブサイト (<https://miraitranslate.com/trial/>)

3. 機械翻訳の戦略的位置づけ

■ 機械翻訳の戦略的位置づけ

(1) 翻訳工程の生産性向上

翻訳工程に機械翻訳を導入し、成果物の品質安定と翻訳業務の効率化を図る

(2) 機械翻訳導入顧客における顧客内シェア拡大

外販した機械翻訳エンジンの再学習を当社が支援
(人手翻訳の成果物を対訳データ化し、再学習時に使用)
→機械翻訳の販売を通じて人手翻訳の発注増加と顧客内シェア拡大を目指す

3. 機械翻訳の戦略的位置づけ (1) NMT活用による生産性向上

13

- ・ 翻訳工程に機械翻訳を取り入れることで、翻訳作業時間の短縮を実現
- ・ **【New】** 医薬モデルの機械翻訳エンジン完成、2019年1月より利用開始

＜生産性実測結果＞ 平均翻訳作業時間の比較

日本語→英語



人手翻訳



機械翻訳+人手校正



英語→日本語



人手翻訳



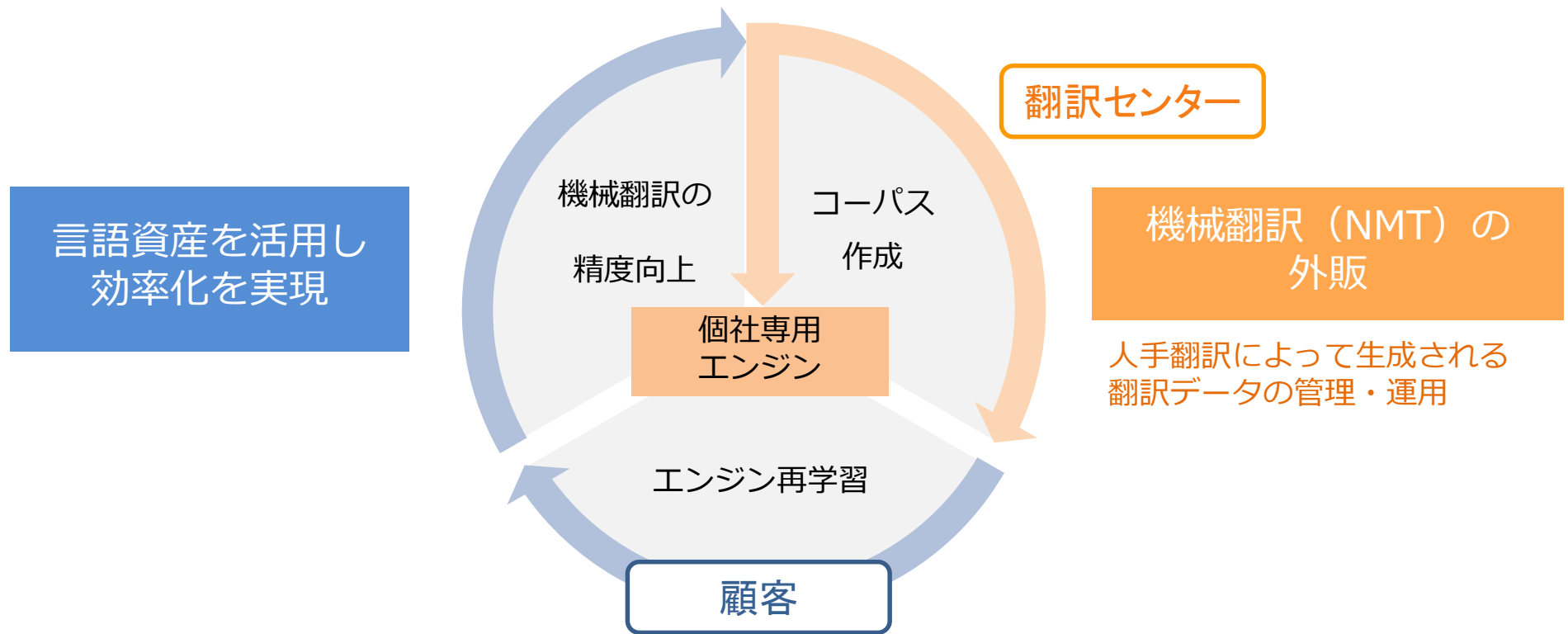
機械翻訳+人手校正



3. 機械翻訳の戦略的位置づけ (2) NMTを活用したビジネスモデル

14

- ・ NMTを活用した翻訳循環構造の構築で顧客内シェアを拡大
- ・ 社内に専属チームを設置し「Mirai Translator™」の外販開始

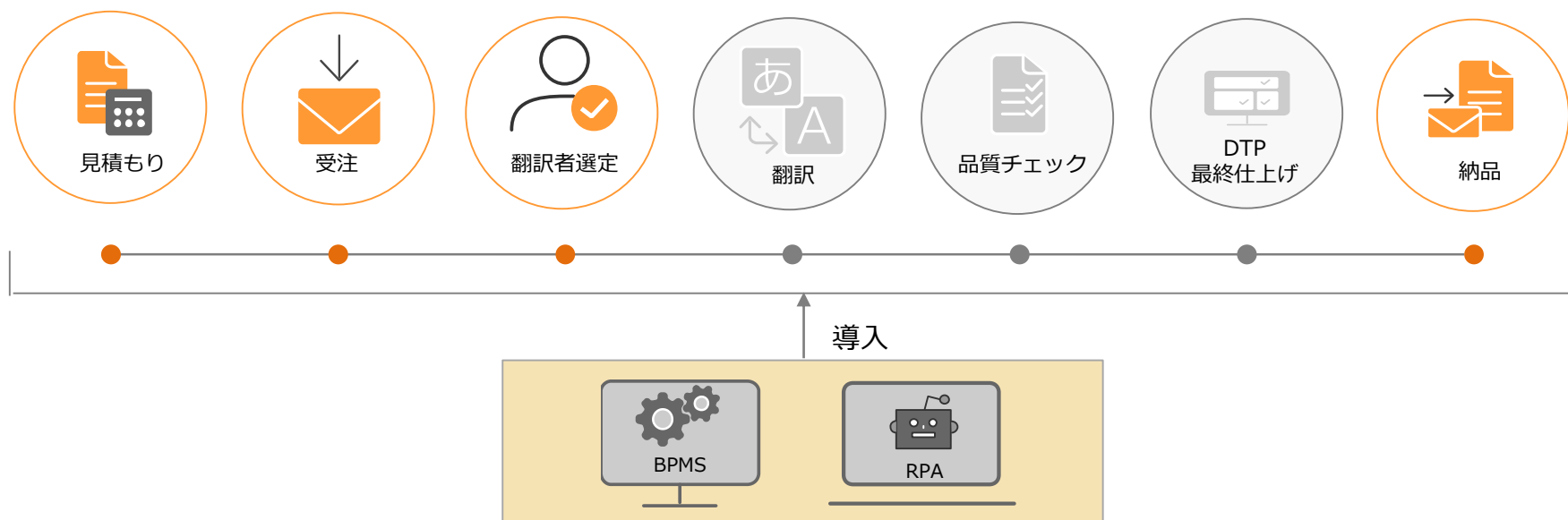


4. 経営基盤の整備 社内業務の効率化

15

- ・ 業務プロセスの標準化と自動化で生産性の向上を図る
- ・ 来期からの運用開始に向けて社内システムを開発中

〔 翻訳の業務プロセス 〕



コーディネータの社内業務を効率化

5. 第四次中期経営計画 業績目標

16

重点施策の遂行を通じ、さらなる成長と収益性改善を迫及

単位：百万円、%

■ 業績目標	三次中計	四次中計			
	2018年3月期 実績	2021年3月期 目標	増減	伸率	CAGR
売上高	10,618	13,600	2,982	28.1	8.6
営業利益	802	1,300	498	62.1	17.5
当期純利益	566	850	284	50.2	14.5

■ 経営指標	三次中計	四次中計
	2018年3月期 実績	2021年3月期 目標
連結営業利益率	7.5%	10%
自己資本利益率 (ROE)	15.2%	15%以上

I. 翻訳センターとは

II. 今後の戦略～第四次中期経営計画

III. 2019年3月期 通期予想と3Q実績

IV. 株主還元

1. 2019年3月期 通期予想と3Q実績

18

売上高・利益ともに三期連続の過去最高を予想、3Q業績も増収増益

単位：百万円、%、円

	2019/3期 (予)	2018/3期	伸率	2019/3期 3Q	2018/3期 3Q	伸率
売上高	12,000	10,618	13.0	8,680	7,645	13.5
営業利益	900	802	12.2	551	516	6.8
経常利益	900	812	10.8	552	521	5.9
親会社株主に帰属する 当期／四半期純利益	600	566	5.8	412	364	13.3
1株当たり 当期／四半期純利益	178.1	168.21	—	122.57	108.13	—
1株当たり配当金	35	29	—	—	—	—

※表中の百万円未満および小数点第二位は、全て切り捨てて表示しております。

※2019年3月期通期予想においてはUS1ドル＝107円、2019年3月期第3四半期においてはUS1ドル＝109.63円で換算しております。

※2018年4月1日に普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しており「1株当たり四半期純利益」については前期首に株式分割が行われたと仮定して算定した数値を記載しています。

2. 事業別売上高 通期予想と3Q実績

19

単位：百万円、%

	2019/3期 (予)	2018/3期	伸率	売上比
翻訳事業	8,660	7,593	14.1	72.2
特 許	1,970	1,880	4.8	16.4
医 薬	2,960	2,744	7.9	24.6
工業・ ローカライゼーション	2,950	2,239	31.8	24.5
金融・法務	780	729	7.0	6.5
派遣事業	1,160	1,127	2.9	9.7
通訳事業	1,000	933	7.2	8.3
コンベンション事業	550	496	10.9	4.6
その他	630	466	35.1	5.2
売上高合計	12,000	10,618	13.0	100.0

2019/3期 3Q	2018/3期 3Q	伸率	売上比
6,226	5,325	16.9	71.7
1,576	1,412	11.6	18.1
2,146	2,005	7.0	24.7
1,918	1,363	40.7	22.1
583	543	7.3	6.7
904	850	6.3	10.4
770	717	7.3	8.8
331	458	△27.8	3.8
448	292	53.2	5.1
8,680	7,645	13.5	100.0

※表中の百万円未満および小数点第二位は、全て切り捨て表示しております。
 ※当第1四半期より語学教育事業はその他のセグメントに含めて報告しております。
 また当第3四半期連結累計期間の比較・分析は変更後の区分に基づいております。

3. 損益計算書・貸借対照表 3Q実績

20

単位：百万円

	2018/3期 3Q	2019/3期 3Q	増減
売上高	7,645	8,680	1,034
売上原価	4,389	5,051	661
売上総利益	3,255	3,628	373
販売費及び一般管理費	2,739	3,077	338
営業利益	516	551	35
営業外利益	5	2	△3
営業外費用	0	1	1
経常利益	521	552	30
特別利益	14	71	57
親会社株主に帰属する四半期純利益	364	412	48

単位：百万円

	2018/3期 3Q	2019/3期 3Q	増減
(資産の部)			
流動資産	4,668	4,611	△57
固定資産	1,072	1,214	142
資産合計	5,741	5,826	85
(負債の部)			
流動負債	1,718	1,476	△242
固定負債	83	94	11
負債合計	1,801	1,570	△231
(純資産の部)			
I. 株主資本	3,923	4,238	315
II. その他の 包括利益累計額	15	16	1
純資産合計	3,939	4,255	316
負債純資産合計	5,741	5,826	85

※表中の百万円未満および小数点第二位は、全て切り捨てて表示しております。

4. 損益計算書 通期予想

21

単位：百万円、％

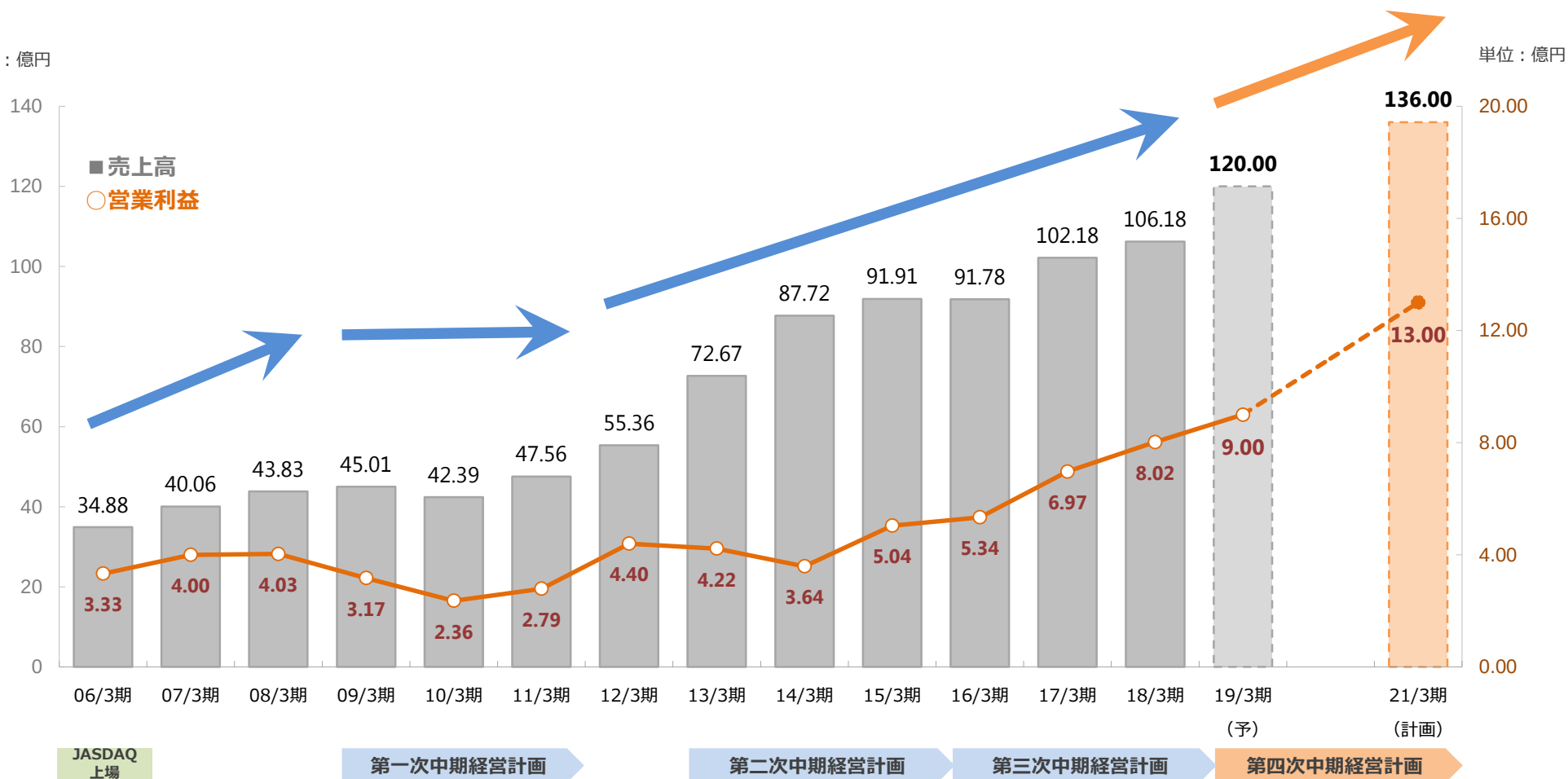
	2019/3期 (予)				2018/3期	売上比
		増減	伸率	売上比		
売上高	12,000	1,382	13.0	100.0	10,618	100.0
売上原価	6,460	347	5.7	53.8	6,112	57.6
売上総利益	5,540	1,034	22.9	46.2	4,506	42.4
販売費及び一般管理費	4,640	936	25.3	38.7	3,704	34.9
営業利益	900	98	12.2	7.5	802	7.6
営業外損益	—	△9	—	—	9	0.1
経常利益	900	88	10.8	7.5	812	7.7
特別損益	25	13	103.1	0.2	12	0.1
税金等調整前当期純利益	925	101	12.2	7.7	824	7.8
親会社株主に帰属する当期純利益	600	34	5.8	5.0	566	5.3

※表中の百万円未満および小数点第二位は、全て切り捨てて表示しております。

5. 業績推移

22

単位：億円



I. 翻訳センターとは

II. 今後の戦略～第四次中期経営計画

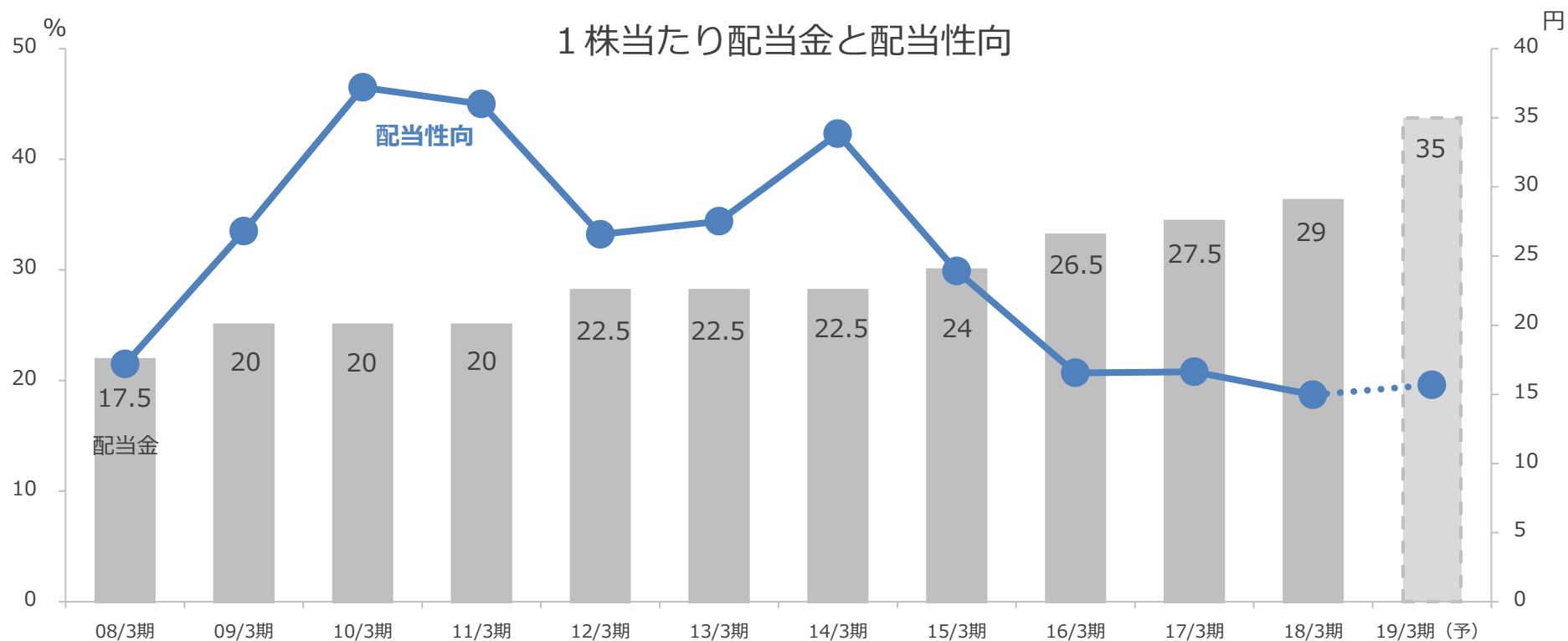
III. 2019年3月期 通期予想と3Q実績

IV. 株主還元

1. 株主還元

24

- ・ 利益成長に応じた継続的な増配を志向
- ・ 2月14日に自己株式の取得を発表



*2018年4月1日付で株式1株につき2株の株式分割を実施しております。当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の1株当たりの指標の推移を記載しています。

参考資料

1. 事業セグメントおよびグループ会社 一覧

26

	翻訳事業	通訳事業	派遣事業	コンベンション 事業	その他
翻訳センター	●				
アイ・エス・エス		●	●	●	
アイ・エス・エス・ インスティテュート（※1）					●
外国出願支援サービス					●
パナシア	●				
HC Language Solutions, Inc.	●				
メディア総合研究所	●				●

※1 アイ・エス・エス・インスティテュートが展開する語学教育事業は2019年3月期第1四半期よりその他のセグメントに含めた報告に変更しております。

※2 ランゲージワン（株）（多言語コンタクトセンター事業、2015年4月設立）は持分法適用会社につき、事業セグメントには含めておりません。

2. 連結業績推移

	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期
売上高（百万円）	7,267	8,772	9,191	9,178	10,218	10,618
経常利益（百万円）	422	359	502	534	699	812
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	220	179	283	430	444	566
資本金（百万円）	588	588	588	588	588	588
発行済株式総数（株）（※1）	16,845	1,684,500	1,684,500	1,684,500	1,684,500	1,684,500
純資産額（百万円）	2,463	2,587	2,815	3,126	3,477	3,939
総資産額（百万円）	3,822	4,063	4,501	4,657	5,111	5,741
自己資本比率（％）	64.3	63.6	62.5	67.1	68.0	68.6
売上高経常利益率（％）	5.8	4.1	5.4	5.8	6.8	7.6
従業員数（人）（※2）	369	392	405	393	413	518
登録者数（人）（※3）	3,813	4,061	4,203	4,355	4,428	4,221

※1 2013年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施
また2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を実施

※2 連結正社員数

※3 翻訳センター単体登録者数（2015年11月より変更）

3. 事業別業績推移

単位：百万円

	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期
翻訳事業	5,801	6,155	6,493	6,727	7,035	7,593
特 許	1,684	1,713	1,730	1,799	1,824	1,880
医 薬	1,902	2,113	2,257	2,376	2,445	2,744
工業・ローカライゼーション	1,741	1,799	1,911	1,917	2,020	2,239
金融・法務	472	529	594	633	745	729
派遣事業	858	1,348	1,310	881	900	1,127
通訳事業	267	584	646	632	783	933
語学教育事業	108	208	214	213	210	197
コンベンション事業	—	—	410	550	1,107	496
その他	232	475	115	171	180	269
売上高合計	7,267	8,772	9,191	9,178	10,218	10,618

※2019年3月期第1四半期より語学教育事業はその他のセグメントに含めて報告しております。なお本表は変更前の事業セグメントで構成しています。

4. 損益計算書 推移

29

単位：百万円、%

	2013/3期		2014/3期		2015/3期		2016/3期		2017/3期		2018/3期	
		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
売上高	7,267	100.0	8,772	100.0	9,191	100.0	9,178	100.0	10,218	100.0	10,618	100.0
売上原価	4,057	55.8	4,949	56.4	5,090	55.4	5,307	57.8	6,026	58.9	6,112	57.5
売上総利益	3,210	44.2	3,822	43.6	4,100	44.6	3,871	42.2	4,191	41.0	4,506	42.4
販売費及び一般管理費	2,787	38.4	3,458	39.4	3,595	39.1	3,336	36.3	3,494	34.2	3,704	34.8
営業利益	422	5.8	364	4.1	504	5.5	534	5.8	697	6.8	802	7.5
営業外収益	3	0.0	5	0.1	6	0.1	3	0.0	5	0.0	10	0.1
営業外費用	3	0.0	9	0.1	8	0.1	3	0.0	3	0.0	0	0.0
経常利益	422	5.8	359	4.0	502	5.5	534	5.8	699	6.8	812	7.6
特別損益	0	0.0	1	0.0	35	0.4	142	1.5	1	0.0	12	0.0
税金等調整前当期純利益	422	5.8	358	4.1	538	5.9	676	7.4	700	6.9	824	7.7
親会社株主に帰属する当期純利益	220	3.0	179	2.0	283	3.1	430	4.7	444	4.3	566	5.3
販売費及び一般管理費	2,787	100.0	3,458	100.0	3,595	100.0	3,336	100.0	3,494	100.0	3,705	100.0
人件費	1,945	69.8	2,394	69.2	2,622	72.9	2,362	70.8	2,472	70.7	2,653	71.6
人件費以外	842	30.2	1,064	30.8	973	27.1	973	29.2	1,021	29.3	1,051	28.4

5. 賃借対照表 推移

30

単位：百万円

	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期
(資産の部)						
流動資産	3,113	3,299	3,856	4,097	4,632	4,783
固定資産	709	763	645	559	478	957
資産合計	3,822	4,063	4,501	4,657	5,111	5,741
(負債の部)						
流動負債	1,181	1,279	1,545	1,435	1,543	1,718
固定負債	178	196	141	95	90	83
負債合計	1,359	1,475	1,686	1,531	1,633	1,801
(純資産の部)						
I. 株主資本	2,456	2,560	2,767	3,094	3,449	3,923
II. その他の包括利益累計額	1	27	47	31	28	15
III. 少数株主持分	4	—	—	—	—	—
純資産合計	2,463	2,587	2,815	3,126	3,477	3,939
負債純資産合計	3,822	4,063	4,501	4,657	5,111	5,741

株式会社翻訳センター 経営企画室

TEL:03-6369-9963 E-mail:info@honyakuctr.co.jp

URL : <http://www.honyakuctr.com/>

本資料は、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘するものではありません。
本資料に掲載された意見や予測等は資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または
約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。